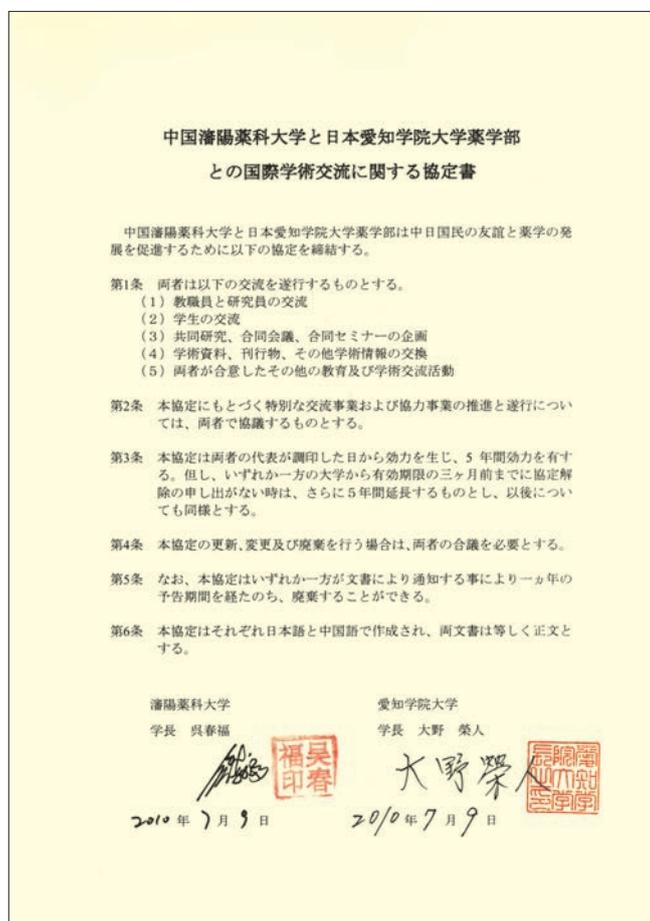


国際交流活動

医療・薬学における国際交流は、21世紀を活動の舞台とする薬学生には必須の活動の一つである。愛知学院大学では、国際化時代に対応するために世界各地の大学と学術協定を結び、活発に交流を行うことによって、グローバルな視野での医療・薬学の理解や国際的感覚の涵養を目指している。現在、薬学部は3つの大学と国際学術協定を締結し、教職員・学生の相互派遣を通じ、講義の受講や附属病院及び薬局見学を行い、交流を深めている。

中国 瀋陽薬科大学

平成22年7月9日に瀋陽薬科大学と本学薬学部は日中の友誼と薬学発展を促進するために国際学術交流を促進するために協定を締結した。



㊦ 協定書

韓国 漢陽大学校



④ 楠元キャンパスでの調印式

平成25年2月20日に韓国漢陽大学校薬学大学と本学は友誼と教育研究活動を通じて学問の発展を促進するために協定を締結した。1回目の学術交流として、平成25年9月8～11日、本学教員2名と学生5名が漢陽大学校薬学大学を訪問した。

漢陽大学校は1939年に設立され、ソウルとアンサンの両キャンパスに、工学、医学、経営、芸術など23学部、学部学生約2万5千人、大学院生約1万人が在籍する韓国最大規模の私立大学である。



④ 協定書



④ 漢陽大学 薬学部キャンパス

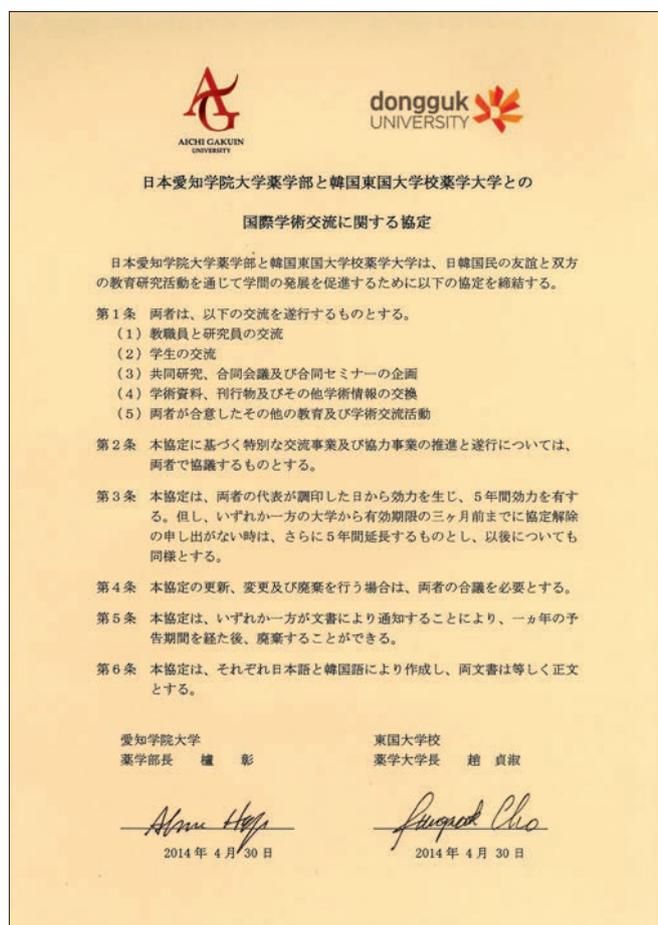


④ 漢陽大学病院医薬品情報室にて

韓国 東国大学校

平成26年1月23日に東国大学校と本学との学術交流協定調印式が東国大学校ソウルキャンパスにて行われた。本学からは大野榮人学長、引田弘道国際交流センター 所長、李辰竜薬学部講師が韓国東国大学校ソウルキャンパスに出向き、韓国東国大学校金熙玉総長と学術交流協定の調印を行った。翌24日には東国大学校慶州キャンパスを訪問し、同キャンパスの李桂英総長や国際交流部門の担当者らと意見交換を行った。

1回目の学生交流として平成26年8月21～24日に本学教員2名と学生7名が東国大学校を訪問し、平成26年8月26日～29日に東国大学校教員1名と学生5名が本学を訪問した。



① 協定書



① 学術交流協定調印式



① 慶州キャンパス訪問